

極楽寺だより



2014(平成26)年8月号

発行所：極楽寺 (浄土真宗本願寺派) ☎759-3803 山口県長門市三隅下野波瀬 3633 ☎0837-43-0625

盆法会のご案内

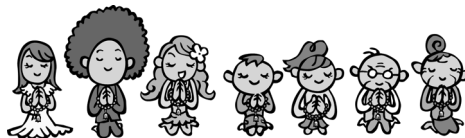
暑中お見舞い申し上げます。お盆は都会に出ておられる方々の帰省で、忙しくもうれしい時期です。

ならば、ご家族揃ってお寺にお参りされてはいかがでしょうか。盆法会はお勤めを含めて一時間と少時間で終わります。計算してみれば、一年は八七六〇時間。八七六〇のうちのたったの一時間です。しかし、こんな慌ただしい時代だからこそ、心を落ち着け仏様に手を合わせる時間を持つことは、人生にとって本当に大切なものとなるはずですよ。

八月十四日(木) 昼二時

八月十五日(金) 昼二時

八月十六日(土) 朝九時(魚法会)



魚供養、魚法会は、特に志を供えられた漁業者だけの法要ではありません。仙崎地区の鯨法会のように、どなたでも、また多くの方がともに仏法を聞くことが大切なのです。たくさんのお参りをお待ちしています。※八月十四日の法座では、大河ドラマ『花燃ゆ』と極楽寺の関係について、わかりやすくお話しします。

ご予約下さい

第51回三隅地区親鸞聖人鑽仰会法座

期日：9月11～12日 会場：兎渡谷常楽寺

講師：佐々木大観 師 ※お寺で送迎致します。遠慮なくお申し出下さい。

報告のページ

総代の交代について

小林明 副総代長が退任。

新総代に、磯 昭正さん（沢江）。

副総代長には、山中重良さん。

六月二十九日に総代・世話人会議が開かれ、

小林明副総代長（豊原）が退任、新しく磯

昭正さんが総代とされました。

小林さんは、二十五年十ヶ月の間総代として、極楽寺の

護持発展に努められ、庫裏改築の際には大変ご尽力いた

きました。特に二〇〇九年の住職継職法要では、稚児宿

を引き受けてもいただきました。本堂前の親鸞聖人像は、

その時の記念として、前総代長の宮崎茂之さんと共に建立

していただいたものです。小林さん、長い間本当にありが

とうございました。新総代の磯さんは、二十五年九ヶ月の

間世話人を勤めていただいております。これからも、よろ

しくお願いいたします。また、新しい副総代には、山中重良総

代にお願いすることになりました。皆さま

これからも、極楽寺護持発展のために、ご

協力下さい。 ■



山中重良 副総代長



磯 新総代



退任された小林総代

お寺のお世話をして下さる、総代・世話人の皆さんです。

総代長	木村慎治さん(野波瀬)		
副総代長	山中重良さん(豊原)	総代	磯 昭正さん(沢江)
総代	藤田平二さん(仙崎)	総代	宮崎忠彦さん(野波瀬)
会計	松野行利さん(野波瀬)	監査	野村昭一さん(上東方)
野波瀬西側	斉藤達男さん	市・湯免	吉見周平さん
	綿野節男さん	土手・中村・大竹	竹林啓助さん
	宮崎忠彦さん	久原	藤村勇次さん
	青海隆司さん	向山	木村重彦さん
	大田宇三郎さん	上東方	西村一夫さん
	岩本 勉さん	下東方・小島	小林 昭さん
野波瀬東側	藤永拓之さん	豊原	山中博道さん
	田村成治朗さん		重岡幸作さん
	石川義文さん		宮本 智さん
	江本富夫さん		坪野美人さん
	岩本国久さん	平野	山中洋介さん
辻並・中小野	松並唯夫さん	浅田・沢江・上ゲ・殿村	大田忠男さん

が、新しい方々です。（極楽寺だより 2013年 12号からの変更のみ）

6月29日の総代・世話人会議にて、下記の通り収支決算が承認されました。

2013（平成25）年度極楽寺門徒会収支決算書

	費 目	金 額 (円)	摘 要	
収 入	門徒会会費	858,000	延 286 戸×3,000 円（野波瀬延 128／在方延 114／町外延 44）	
	本山教化助成金	0	本山門徒講、永代経志進納によるもの	
	貯金利息	280		
	前年度繰越金	3,510,911		
	合 計	4,369,191		
支 出	負担金	407,740	本山賦課金	245,600
			山口教区費	125,540
			大津東組 組費	36,600
	研修会費	27,000	組総代会総会 (7/25)	3,000
			組総代会公開講座 (10/26)	1,000
			教区総代会公開講座 (10/29)	2,000
			教区総代一泊研修 (1/25-26)	21,000
	火災保険料	295,240	西部農業共済	83,460
			本堂 6,700 万円 JA 共済	161,680
			庫裏 4,000 万円 JF 共済	50,100
	会議費	60,000	7/1 総代・世話人会議	
	慶弔費	30,000	山中繁一元世話人・森永隆幸元世話人・早川重行元世話人	
	予備費	0		
合 計	819,980			
差引残金		3,549,211	漁協普通預金	

※ 2013 年度より、これまでの火災保険だけではなく、自然災害対応の保険に変更することになりました。

2013（平成25）年度極楽寺 特別会計収支決算書

	費 目	金 額 (円)	摘 要
収 入	定期預金	2,292,380	
	普通預金	72,792	
	利息	464	定期 458 円 普通預金 6 円
合計		2,365,636	漁協定期預金 2,292,380 円 普通預金 73,256 円

※ 特別会計の用途は、大法要・修復等に限定し、総代会に相談の上とすることになっています。

2014(平成26)年度の門徒会費は、前年通り 3,000 円です。

三隅地区の方は世話人さんへ。他地区の方は、直接お寺の方へ納入して下さい。宜しくお願いします。

京都 本願寺の 御門主が交代されました

去る6月6日、浄土真宗本願寺派の本山・京都西本願寺で「法統継承式」が厳修され、大谷光真前門主（68）より、光淳新門主（36）へ交代されました。光淳新門主は、第25代となります。全国から訪れた参拝者は、約8千人！阿弥陀堂と御影堂に入りきらず、白洲の特設テントからテレビ放映で見守られる方もあったようです。極楽寺前住職と前坊守も参拝いたしました。



大谷光淳門主さま（右）と光真前門主さま
＝6月6日西本願寺対面所にて

満堂の参拝者
撮影・前住職



光淳御門主は、国内で武力行使に対する容認論が急速に広がっている傾向を案じ、平和への願いを積極的に「宗門から発信できれば」と力を込められました。

退任された光真前門主さまは「少し余力を残して引退できる。本当にありがたく思っています」とほっとした表情を浮かべられましたが、

在位した37年間を通じて「国内はもちろん、世界的に格差が広がっている。新しい課題になってきた。」との認識も示されました。光真前御門主は、1990（平成2）年に山口御巡教の際、極楽寺へお立ち寄りになられています。

さて、ある日のこと。極楽寺の電話が鳴りました。「もしもし京都新聞ですが、この度新しく就任される御門主に、地方の住職の立場から一言お願いします。

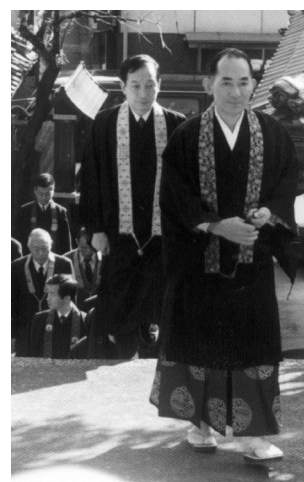
す。」と、突然の取材の依頼が。

「どうして、私が・・・??？」と戸惑いながら、一度お断りしたのですが、結局コメントが掲載されることになりました。（ほんの小さくではありますが。）

京都新聞の特集記事は、極楽寺本堂に張り出しています。■



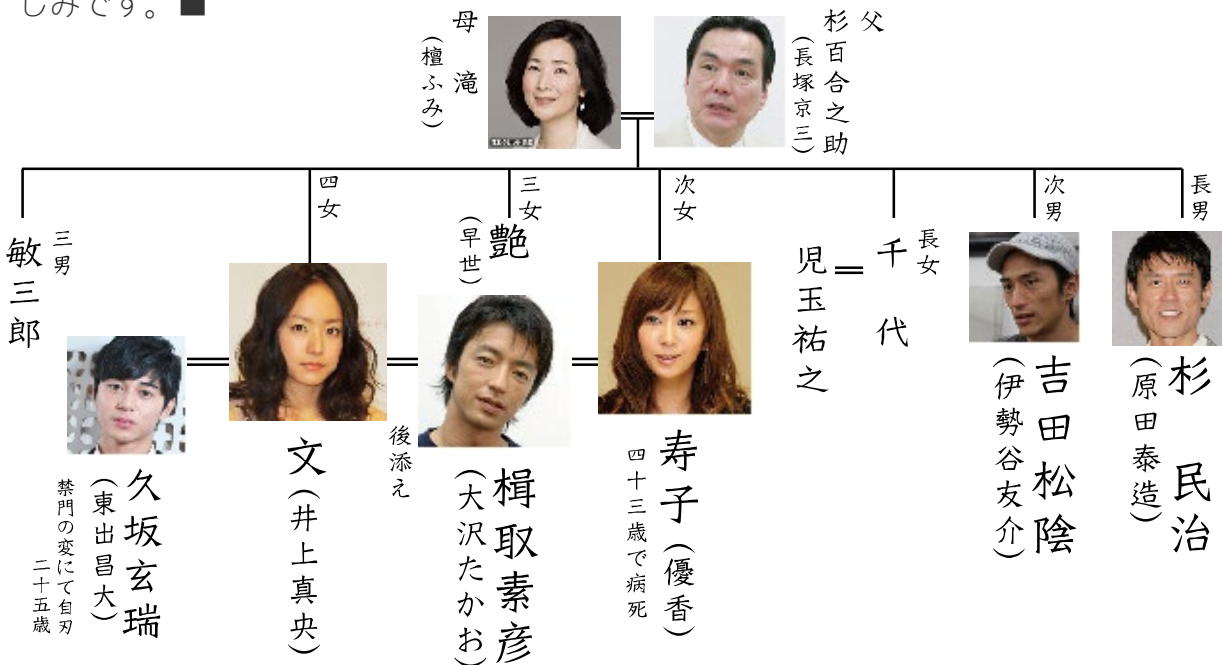
「法統継承式」に参拝した、前住職



極楽寺に立ち寄せられた前門主さま（左）と、前住職。二人とも若い！

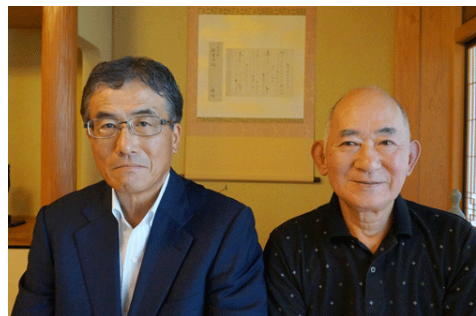
キャスト決定！ 寿さんは、優香

来年の大河ドラマ『花燃ゆ』のキャストが、ついに発表されました。主人公文の井上真央さん、小田村伊之助（楫取素彦）の大沢たかおさんは既にお知らせした通りですが、兄・松陰を伊勢谷友介さん、文の夫・久坂玄瑞を東出昌大さん、久坂と並ぶ松下村塾の双壁と言われた高杉晋作を高良健吾さんと、イケメンだらけとなりました。その他、父杉百合之助を長塚京三さん、母・滝を檀ふみさん、兄・杉梅之助（民治）を原田泰造さん、伊藤博文を劇団ひとりさん。脇を北大路欣也さん（毛利敬親）、奥田瑛二さん（玉木文之進）。そして、三隅出身で松下村塾生の後ろ盾となった周布政之助を石丸幹二さんと、豪華共演者出演者がズラリ。気になっていました極楽寺に縁の深い、主人公の姉「寿子」さんは優香さんが！！一体どんなドラマになることやら、楽しみです。■



楫取素彦の曾々孫 能彦氏、極楽寺へ来訪

去る7月1日、楫取素彦（演じるのは大沢たかお）・寿子（演じるのは優香）夫妻の玄孫（曾々孫）である楫取能彦さんが、長門市を訪れられ、極楽寺にも立ち寄られました。能彦さんは、お母さんが東京大空襲で三隅へ疎開された時に生まれられたそうで、調べてみると、豊原の磯部さんのお宅に間借りしておられたことがわかりました。一緒に疎開されたお姉さんは、前坊守と同級生で、一緒に小学校に通っていたことも判明。思わぬご縁だと、話に花が咲きました。■





毎日、お参りしましょう！
キャンペーン 第十弾

誰に相談しますか？



インターネットには、質問を書き込むと、いろんな

人が親切に答えてくれるという「Yahoo 知恵袋」や「教

えてgoo」といったサイトがあります。生活の知恵から、冠婚葬祭、

芸能界の裏話、電化製品の使い方、政治問題に至るまで、いろんな

質問が書き込まれ、それぞれに回答が書き込まれるのです。その中

に、こんな質問がありました。

それって「キモい」？

「私はいま十三歳です。十六歳の兄と両親との四人家族で暮らしているのですが・・・、昨日学校に行ったとき、友人二人から「あなたの両親マジやばい、キモい」と言われてショックを受けました。二人は先日、近所のショッピングモールで、手をつないで歩いていた私の父と母を見かけたというのです。」

「いい年こいたおじさんとおばさんが手とか繋いでヤバイ」と嫌悪感丸出しで言われ、「若いときはいいけど、年とったら無理な」

んだよ」と言われました。うちの両親は仲がよく、外でも腕を組んだり手を繋いだりしています。私も父と母がとても仲が良いことが嬉しいし、尊敬もしていたのです。

私の家族は異常なのでしょうか？友人の言うとおり、キモいのでしょうか？もうどうしたらいいのかわかりません・・・。こんなこと家族には言えません。どうぞ助けて下さい。ケンカもするけど家族が大好きなので、不安で眠れないのです。」

誰に相談するかで

質問をした彼女にとって、両親が仲良くしている姿は、当たり前でうれしいことでした。ところが突然、友だちから「キモい」と言われたのです。思春期の中学生にとっては、本当にショックな言葉だろうと思います。

しかし、「キモい」というのは傲慢な言葉ですね。「キモい」とは、「気持ちが悪い」の若者言葉ですが、自分の感覚だけの言葉で

すから、反論はんろんのしようがありません。いろんな人が、いろんな環境かんきょうの中で、違う考え方、好み、文化、習慣しゅうかんの中で生きているのにもかかわらず、自分の感覚だけが正しくて、そうでない者は「キモイ」というのは、傲慢で失礼な態度です。にもかかわらず、そんな言葉が日常的に使われているのですから、本当に怖ろしいことだと思います。

では、この質問に対して、どんな答えが返ってきたのでしょうか。もし、「確かにキモいよね〜」なんて言葉が書き込まれていたら、思春期の彼女は傷つき、せつかくの家族の絆が壊れてしまうのではないかなどと思っていたら・・・、「あなたのことがホントうらやましい〜!!」「俺の理想の家族です。全然キモくないですよ〜!」とか「手をつなぐことに年齢制限ねんれいせいげんなんてあっちゃたまりません!!」といった書き込みが、何百人という人からあったのです。

彼女は、その書き込みが、心からうれしかったのです。「たくさん励はげまし有り難うございました。落ち込んでいた時は、逆に両親から心配されました。早く立ち直らなきゃなと思います。」と返事を書いていました。たくさんの人からの言葉が、家族を思う彼女の心の支えになったのです。↘

人間には、いろんな文化や習慣、好みがあります。考え方も違います。そして、生きていく中で周りまわからいろんな声が聞こえ、迷いも出てきます。それは多感な中学生だけではありません。それだけ周りの状況じょうきょうに流されやすいのが、私たちではないでしょうか。その時、誰に相談し、何を道みちしるべにするのかで、ものの見方、考え方、生き方は、大きく違ってくるのです。

では、皆さんは、自分のこれまでの価値観かちかんが揺さぶられるような体験をしたときに、誰に相談し、誰の生き方を道しるべにされますか？これは本当に大切なことです。相談する相手によっては、大変なことにもなりかねません。

お念仏のみ教えをいただかれた私たちの先輩方は、阿弥陀さまに相談し、親鸞聖人しんらんしょうにんの生き方を道しるべとされました。お仏壇の前に座り、手を合わせながら、「阿弥陀さまはどう思われるだろうか。」「親鸞聖人は、どうされるだろうか」と相談しながら人生を歩まれたのです。まさしく、仏法を人生の縦糸として、軸とされたのです。

同調圧力

日本人は、「同調圧力どうちょうあつりきょく」に弱いと言われます。自分が所属するしよぞく

グループの多数意見が普通だ、みんなと違ったら恥ずかしい、仲間はずれにされないかという意識が強いということです。考えてみればそういうことって、よくありますよね。声の大きな人に逆らえない。場の空気を読まなくてはならない。みんなと違うと気にかかる。周りの空気がいつも正しいのであれば、それでいいのかもしれませんが、そうではないからイジメもなくなるらないのです。「赤信号 みんなで渡れば こわくない」ビートたけしさんの言葉は、同調圧力に弱い私たちを的確に指摘しています。

だからこそ、自分のいる世界の外側の声を聞いていかななくてはならないでしょう。それは単に、日本の外からの声を聞くということではありません。外国の常識がいつも正しいとは決して言えないのです。現代社会において世界的に重要視されているのが、スピード・合理性・経済性です。現にそれが、人間性や、長い歴史を通して伝えられてきた大切な心を壊しているではありませんか。

時代・状況を超えて大切にしなければならぬものがある。それを知るには人間を超えた世界からの呼び声に耳を傾けなくてはならないでしょう。人間、つまり煩惱を超えた世界からの呼び声を

仏法と言います。その声に相談しながら、支えられながら歩んでこられた歴史が、お仏壇には込められているのです。

確かにみんなと違うことをするのは、勇気がいります。流されてしまい、できないことだっていくらでもあります。しかし、阿弥陀さまと相談しながらの人生には、痛みがあります。悲しみが生まれます。ブレーキがかかります。その痛みや悲しみは、実は阿弥陀さまの心を大切にしていることの裏返しでもあるのです。場の空気に流されて、人をイジメ、傷つけても何も感じない生き方は、おぞましく、虚しい人生ではないでしょうか。

阿弥陀如来や親鸞聖人は、できるできないを問われる仏さまではありません。その心に背き続ける私たちを、それでも慈しみ、悲しみながらも包み込んで下さる仏さまなのです。だからこそ、かけられている願いを、心をいただきながら自分の生き方を見つめなければ、周りに流され、大切なことを見失ってしまいかねないのではないのでしょうか。 ■



山口新聞 東流西流

山口新聞のコラム『東流西流』三月・四

月の木曜日担当に、住職がご指名をいただき
きました。

今月は、第四〜五回分を転載します。

(山口新聞)

2014 (平成 26) 年 3 月 27 日掲載

東流西流

先日中学校で、保護者を対象に携帯アプリ「LINE」の講習会がありました。考えてみれば、

携帯やネットのトラブルの責任は先生にはありません。持たせる、管理する、すべて親の責任です。ところがトラブルがあれば、対応は学校がしなくてはならないのが現状だとか。先生は生徒を見放せませんから、講習会ま

めて感謝し、思いを受け止めなければ、先生方に失礼です。無関心で良いのでしょうか。責任者は私たち親なので下さるのです。せめて感謝し、思いを受け止めなければ、先生方に失礼です。

便利さの裏に

便利さとは、反面恐ろしいものです。一昔前は噂話や陰口をしても井戸端会議で済みましたが、今はネットや携帯でどこまでも広がっていきま。軽い気持ちで人を傷付け、時には殺すほど大きな毒に変わっているのだからか。思わず冷や汗が出ました。

池信 秀見
は殺すほど大きな毒に変わっているのだからか。思わず冷や汗が出ました。
（長門市、住職・三隅中PTA会長）

東流西流

最近の子どもたちは、大変な環境に置かれています。ゲーム・テレビ・ネットなど様々な欲望が襲いかかる中で、折り合う力を育てなくてはならないのですから。大人でもパチンコやお酒に折り合えない人がいるのに、子どもにはかなり難しいことです。私が子どものころは、刺激も少なかつ

自由って一体何だ

たのでまだマシでしたが、気がつけば一が、今の環境なら絶対に流され、怖ろしいことになっていくはず。それは自分を見失った、近ごろは、自分心貧しい生き方です。『大無量寿経』という分の思い通りにお経には、世に生きる自由」だと思われ共示されています。「不急が、仏教ではそれを「煩惱に縛られている状態」だと言います。何を急ぎ求め、争つて遊ぶのはいいのですが、ゲームにもつめていかないと、人生が薄っぺらなものにしかようか。携帯に、テレビに縛られてはいけません。暇つぶしは増えるので、気がつけば一

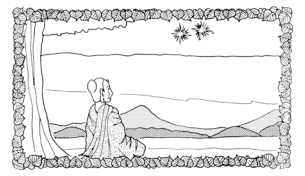


池信 秀見



(山口新聞)

2014 (平成 26) 年 4 月 3 日掲載



極楽寺揭示伝道 けいじてんどう



「世界平和のためにできることですか？」

家に帰って家族を愛してあげて下さい。」

「こう言われたのは、貧しい人々のために生涯を捧げられたカソリックの修道女、マザー・テレサでした。平和の基本とは、まさしく日々の生活にこそあり、その延長線上に世界平和があるのだと教えられたのです。」

ところが便利な現代においては、日々の家庭生活での怒りや憎しみが、延長線上どころかそのまま社会と直結することになってしまいました。

日常的に親が愚痴をこぼす家庭に育った子どもは、同じ感覚でインターネットに人の悪口を書き込みかねません。となり近所で言われるのもイヤなのに、ネットに書き込まれると、言葉は暴走し、大きな影響を産みますから、ダメージはより深刻になります。

8月の言葉

つまり家庭での軽い一言が、直接社会に大きな影響を与えてしまう時代に、私たちは生きていくのだということです。

「ネット上で、こんなに日本を攻撃する書き込みをしている」と、その書き込みのデタラメさを挑発的に紹介しています。

冷静に考えてみれば、インターネットの書き込みは玉石混交であり、日本でも劣悪でデタラメなものも幾らでもあります。軽い気持ちで書かれたものなのか、深い悲しみの中から生まれたものなのかは、しっかりと裏づけをとらなければわかりません。少数の攻撃的な意見を、全体意見のように扱われてはたまらないでしょう。しかし、それを有名新聞が取り上げ、煽ることが、現に行われているのです。軽い気持ちで書き込んだ怒りが、国同士の争いの火種にまで繋がりがなくなっているとは、なんと怖い話ではありませんか。

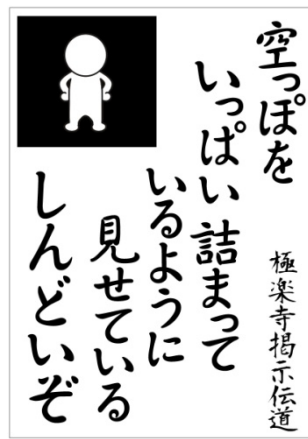
日本のシンクロナイズドスイミング界を牽引し、「シンクロ界の母」と呼ばれる井村雅代さんが以前、中国代表監督を務めた際、こう言われていました。

「日本に比べると、中国のよくない面／ばかりが強調される。でも、実はそうじゃないんですね。中国はともかく大きい。人口も日本の十倍以上いる国。だからいい人も日本よりたくさんいる。悪い人もたくさんいる。／日本の報道も嘘じゃないけれど、どこにフォーカスするかの問題だけなんです。」（『Sports Graphic Number 696』）

中国にはたくさんの方がいるから、攻撃的な意見も数としては多いけれども、それ以外の意見もたくさんある。ごくごく当たり前のことです。報道とは一面を切り取る作業ですから、どんな意図で切り取ったのか、切り落とされた部分には何があるのかに、思いを馳せる想像力を大切にしたいものです。

一時の感情的な怒りであったとしても、それが大きな戦争に結びつきかねない時代に生きていくことを、私たちはもっとももっと、真剣しんけんに考えなくてはなりません。

小さな怒りが、世界平和の灯りを吹き消しかねないのだという状況にいることを。 ■



7月の言葉

心理学者の河合隼雄かわい はやお先生によると、「感謝できる人は強い人」なのだそうです。他人に心から感謝するには、自分が他人から何らかの援助えんじょや恩義おんぎを受けた事実を認めなければなりません。ところが、「弱い人はそもそもそのような現実の把握はあくができない」からだと言われるのです。 ↓

人間は援助したり、されたりして生きています。いや、されていない人間などいないでしょう。ところが「弱い人」はその事実を把握することができなくて、借りかや負おい目めとして受けとめてしまい、自分が相手よりも「下」だと認めねばならないと思ってしまうようなのです。

だから、他人の援助を不必要ふひつようにはねつけたり、受けたとしても重荷おもに耐えかねて、かえってその人を嫌いやに感じたり、何かと非難ひなんすることを見つけたりする。中には、やたらに「すみません」を連発して、あやまり倒すような人も出てくるのだとか。

「人に恩義を受けて生かされているという現実を、把握できない」人を、河合先生は「弱い人」と指摘してきされます。そして、その事実を受け容れて感謝できる人を、「強い人」と言われます。ならば、本当に「強い人」というのは、自分の弱さを認めることができる人のことを言い、「弱い人」とは、自分の弱さを認めることができない人のことを言うのでしょう。 ↓

自分の弱さを認めることができない生き方とは、まさしく「空っぽを、いっぱい詰まってるように見せている」姿ではないでしょうか。そこには、無理があり、ゆがみがあり、しんどさがあります。

自分の有りのままの姿を受け容れ、地に足をつけた生き方には、力強さがあり、共に生きる仲間があり、支えて下さる大地があるのです。

曾我量深そがりょうじんという先生が、「善人は暗い、悪人は明るい」と言われています。ここで言う善人とは、まさしく自分の善いところばかりを主張してくような在り方、つまりは自分の弱さを認めることができない人のことなのでしょう。感謝もできないような生き方は、暗いはずですよ。

そして、浄土真宗でいうところの悪人とは、自分の弱さを受け容れ、自分を支えてくださる世界に深く頭が下がる人のことを言うのです。そこにこそ、本当の明るい生き方が開かれていくのだと教えられるのです。 ■

大津東組キッズサンガ ～お寺にとまろう！～

毎年恒例の大津東組主催、キッズサンガ。

今年は、深川江良 光浄寺で開催いたします。

たくさんの方のご参加をお待ちしています！！



◇ 日 時 8月21日 (木) 午後2時30分より 22日 (金) 午前11時30分まで

◇ 場 所 長門 深川江良 光浄寺 ◇ 対 象 小学3年生から6年生まで

◇ 会 費 1,000円 (当日集めます) ◇ 申し込み&お問い合わせ お寺まで。

極楽寺お寺の子ども会 ～花火とかき氷の夕べ～

8月のお寺の子ども会は、夜の子ども会です！

8月18日(月)

夜7時30分から 9時前には終わります



極楽寺ホームページ
<http://極楽寺.com/>

極楽寺だよりの過去の記事をはじめ、大河ドラマ『花燃ゆ』の情報など、盛りだくさんの内容です。

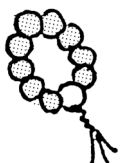


極楽寺だよりを送りますか

都会に出ておられる子どもさん、お孫さんたちへ。
有縁の方々へ。お寺から、直接郵送します。

お寺まで、お持ち下さい。

お念珠 修理いたします。



仏事、葬儀、納骨・・・、わからないこと、困ったことがあれば、
極楽寺にご相談下さい。どうぞ、ご遠慮なく 0837 (43) 0625

□今回の極楽寺だよりは、お知らせが多かったということもあるのですが、とうとう12頁になってしまいました。一体どこまでいくのでしょうか。自分で作っておきながら、おそろしくなってきました。□皆さんお気づきではないかもしれませんが、実は私(住職)この度ダイエットに成功しました。昨年11月の最高時よりも8kgやせました。その為正座がかなり楽になりました。同時に、リバウンドしないかと、心配している毎日です。